

第2回 檀原市新本庁舎建設市民ワークショップの結果

開催場所:分庁舎(ミグランズ)1階屋内交流スペース

開催日時:平成30年4月21日(土) 13:30~

出席者数:19名

1. ワークショップ実施概要

1.1. 目的

本ワークショップ実施の目的は以下の通りです。

**目的：檀原市、檀原市民にとっての市役所の役割を皆様と共に考え、
これからつくる新本庁舎のあり方を導くこと。**

- ◆ ナビプラザ、分庁舎を含めた3施設を一体的に市役所の機能と捉え、これからの市民生活やまちづくりに果たすべき役割と備えるべき機能を把握する。
- ◆ ナビプラザ、分庁舎、新本庁舎の役割と備えるべき機能を明確にする。
- ◆ 少人数のグループ形式で話し合うことで、ざっくばらんな雰囲気の中、皆様から沢山の意見をいただく。

1.2. 全体構成

本ワークショップは全2回の実施を予定しています。各回の討議テーマは以下の通りです。

第1回テーマ（平成30年3月24日）
市役所の役割とは何か？

第2回テーマ（平成30年4月21日）
新本庁舎の機能について話し合おう！



これからつくる新本庁舎に必要な機能・役割を導く

1.3. 第2回ワークショップの概要

◆ 当日の流れ

13:30に開会、ワークショップの目的等を説明し、13:40~14:00まで第1回ワークショップの結果の共有及び質問回答を実施しました。

その後、14:00から討議を進めて頂くためのテーマの説明、奈良県内他自治体の事例の共有の時間を設けました。

14:30から約1時間半にわたって、4つのグループで各4つのテーマについて討議頂き、討議の結果を新本庁舎計画敷地の図面にまとめました。

◆ 討議の内容

下記のテーマについて討議して頂きました。

表：討議テーマと討議内容

	橿原市新庁舎基本構想の基本理念	第1回ワークショップから得られた視点	第2回ワークショップ討議テーマ
テーマの視点	安心・安全	視点① 防災機能や広場機能としての役割	防災拠点機能・広場機能の使い方
	協働 暮らし	視点② 市民が活用できる公共施設の役割	市民協働・交流スペースの使い方
	橿原市らしさ まちづくり 環境配慮	視点③ 庁舎施設として必要な役割	橿原市のまちづくりや橿原らしさを考慮した使い方
		視点④ 議会機能としての役割	議会機能の役割・使い方

1.4. 参加人数とグループ分け

H30年2月より、市のホームページ及び広報誌にて公募を行ったところ、29名のご応募をいただきました。

当日は、その内19名の方々にご参加いただきました。

表：グループ分け

グループ	出席者
A	4名
B	4名+1名
C	2名(B.Eに移動)
D	5名
E	4名+1名

2. 第2回ワークショップの実施結果

各グループで得られた結果は、4つのテーマに対するご意見と、それら意見から作成した図面としてまとめています。

A グループの意見

● 図面を作成するまでの各テーマに関するご意見

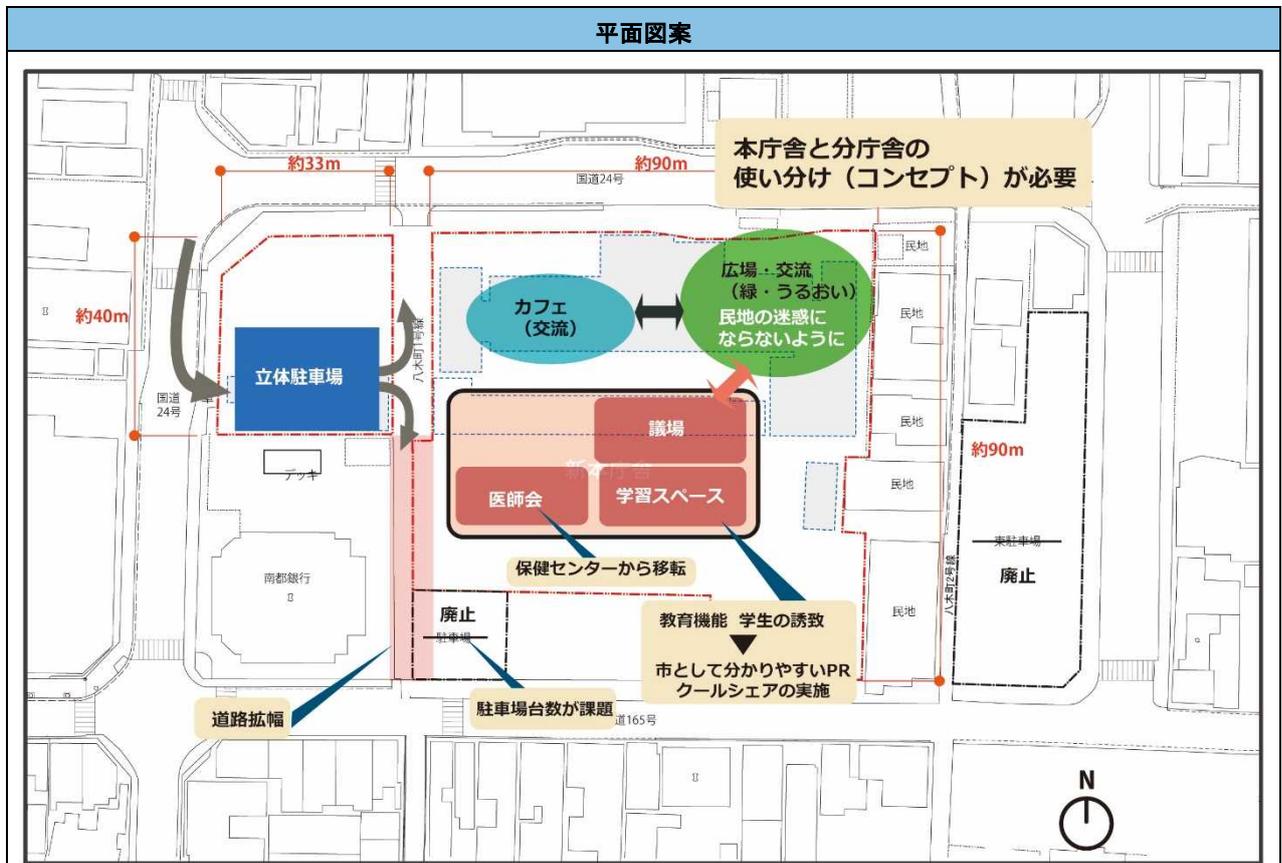
意見の分類	意見の概要・趣旨
防災拠点機能 広場機能の使い方	<ul style="list-style-type: none">・実務を行えるように配慮する（情報収集など）・防災本部のみあればよい・防災拠点とするのであればこの土地でなくてもよい・この場所を防災拠点化するならば、可変性を持たせる場を設けてはどうか・防災の中心、市民の安否確認ができるようにする
市民協働 交流スペースの使い方	<ul style="list-style-type: none">・市民共有広場をここへ移動させる。喫茶店などは不要
榿原市のまちづくりや 榿原らしさを 考慮した使い方	<ul style="list-style-type: none">・外から執務等の見える化、広報の充実を図る・簡素でいいので、これが榿原か！とわかるデザインにする・榿原の基地としての、まちづくり・防災（非常時の生活の拠点となる）を考える・飛鳥シティリージョンや医大周辺まちづくり等との連携を図る
議会機能の役割 使い方	<ul style="list-style-type: none">・万葉ホール空きを使ってはどうか・会議室は万葉ホールを使えば良い。体育館は公民館ではなく小学校のものを使用する。・議会の放送をナビプラザで出してはどうか・セキュリティを確保した上で、議会の見える化を実施する・議会は2階までとし、傍聴席は議会と同じ階に設ける
その他・全体	<ul style="list-style-type: none">・施設規模を抑えると、必然的に建物高さが低くなる・周辺道路を考えるべき・新本庁舎と同時期に周辺道路を改良すべき・駐車場を有料とし、分庁舎の駐車場と一体的に考える

B グループの意見

●意見をもとにグループで作成した図面

意見の分類	意見の概要・趣旨
防災拠点機能 広場機能の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・防災はテーマの中でも重要度が低い ・防災機能を新本庁舎の敷地で全て行うのは難しい ・そもそも防災拠点機能(住民が避難する場)が成立する立地ではない ・東駐車場に備蓄倉庫を設ける ・防災拠点として避難場所を作るのならば、もっと分散し、安い土地へ移動すべき ・役割による施設の使い分けをはっきりさせる。防災は新本庁舎に必要な ・窓口は無いが、周囲に人は集まる立地。周辺地域の駐車場拠点とする
市民協働 交流スペースの使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・夜も土日もあけられる機能にすべき、イベントで使用する ・交流スペースは時間関係なく使うようにすべき、そのために公民館・図書館のように施設管理者を置く ・緑を充実させる ・周辺に住宅がある土地のため、広場を作ったら子供の声がうるさいといわれるかもしれない ・ランドスケープデザインを充実させる ・学習の場として学生でも利用できる場とする ・市民・若者に、まちづくりをする協働の場にする
檀原市のまちづくりや 檀原らしさを 考慮した使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・教育のまちとするために、交流スペースを設ける ・檀原を伝える場、PRする場とする ・風通し良く、意見が自由に言える自治体に変えていく ・そんなに特徴のある町ではない ・らしさに縛られず自由な発想が必要である ・国の始まりを檀原市の特徴とするのであれば、実際に国を変える人材育成を行う場とするべき、それが檀原らしさになる ・幼いころから政治に参加できる教育をしていくべき ・にぎわい広場の拠点として、緑を豊富にすることで檀原らしさを新しくつくる ・大和八木駅、八木西口駅をアーケードで繋げる
議会機能の役割 使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・議会は1階、広場と一体的に活用できるようにする ・議場を分庁舎の屋内交流スペースに入れる
その他・全体	<ul style="list-style-type: none"> ・まちおこしのリーダー求む ・土日、休日の診療、医師会を入れる。夜間も対応していく様にする ・まちの中心(大和八木駅側)の方向が正面になる土地である ・南都銀行や郵便局の土地まで新本庁舎敷地を拡幅する ・借地で駐車場はいるのか、お金がもったいない ・可能な限り借金はしない、借地は買うべき

●意見をもとにグループで作成した図面



図面を作成するためにグループでまとめた意見

● テーマ

- ・新本庁舎と分庁舎の使い分けが必要である
- ・使い分けに関するはっきりとしたコンセプトを決める

● 各機能の使い方・配置等

(防災・広場・駐車場)

- ・広場、交流スペースは緑やうるおいのある場所にし、カフェ等を設置し交流の場とする
- ・ただし、隣接している民地の迷惑にならないように配慮する
- ・借地である駐車場は廃止し、西館の敷地に立体駐車場を建設し、自動車を一か所に集めることで、道路の流れを整理する
- ・合わせて八木町1号線の道路は拡幅する

(施設の使い方)

- ・学習スペースを1階に配置し、教育機能を持たせ学生の誘致を実施する
- ・人が集まる場所を、市としてわかりやすいPRの場とする
- ・医師会を保健センターから新本庁舎に配置し、夜間診療などを利用しやすくする

(議会機能)

- ・議会は1階広場側に配置し、交流広場との一体的な利用を行う
- ・市民誰もが興味を持てる議会づくりとする
- ・学習スペースと合わせ、幼いころから市政に関心を持てるようにする

D グループの意見

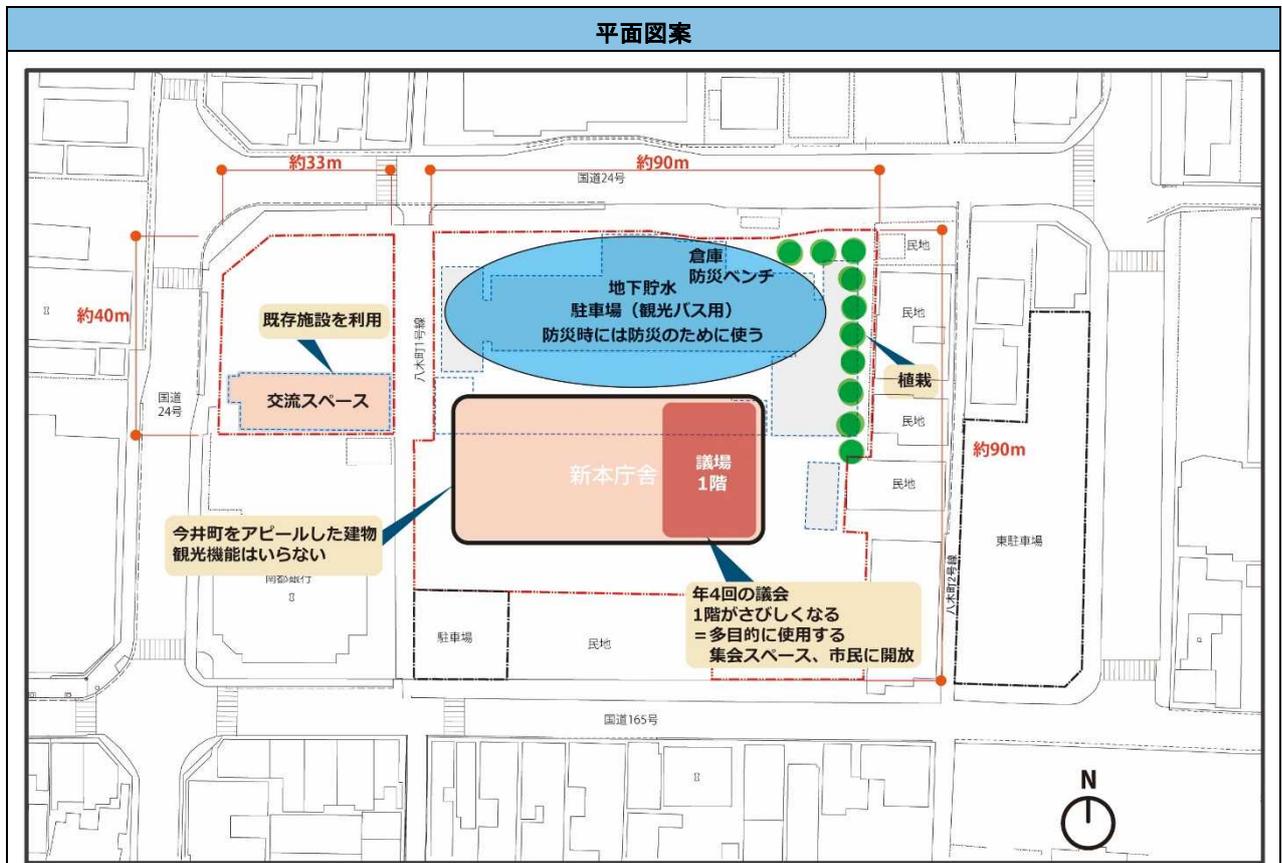
● 図面を作成するまでの各テーマに関するご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
防災拠点機能 広場機能の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災拠点として警察・消防を含めた災害本部機能を確立しておく ・ 新本庁舎に（別棟）食糧・毛布等の備蓄倉庫を作る ・ 自家発電機器を設置しておく・毛布等や飲料は1週間分ほど備えておく ・ 防災広場として五井町処理場用地を利用してください ・ 防災拠点は1箇所だけでなく、数か所にしてください ・ 防災拠点には広い場所が必要なので別の場所に設ける ・ カマドベンチ・パーゴラ・マンホールトイレは地域の公園に設置した方が良い ・ 防災備蓄倉庫は各地域に設置すべき（新本庁舎から遠い住民への運搬が困難と思われる） ・ 市の市街地中心部に防災広場は不要。防災機能を新本庁舎に置くだけでいい ・ 観光バスの駐車場にする、防災時は防災広場として使用する ・ 防災拠点は市役所に置く。地域にも災害時の食料その他は備蓄できている ・ 太陽光発電を導入すべき
市民協働 交流スペースの使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流スペースはすでにナビプラザがあるので必要ない ・ 交流スペースはすでに機能しているので必要ない ・ 新本庁舎の中に子育て世代が集まれる場としてコンビニとカフェを作る ・ 市民協働、交流スペースはナビプラザにあるので有効活用すべき ・ カフェ施設はナビプラザにして下さい。新本庁舎には必要ない ・ 公文書館機能があればよい
権原市のまちづくりや 権原らしさを 考慮した使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街を自動車が走る現状で「景観・賑わいの歩行者空間」を語るのは難しい ・ 都市計画を抜本的に再検討すべき ・ 今井町の観光を進めてほしい、庁舎と今井町との関連を持たせてほしい ・ 観光で分庁舎を建築したのだから新本庁舎はコンパクトにする ・ 権原の知名度が低い、アピールが必要、観光機能のアピールが少ない ・ 八木から新宮行き日本一長い路線バスなど、権原市を観光拠点とした取り組みをする ・ 八木からは関空行の直行バスが出ていることから、海外からの観光客や宿泊者を増やすために宣伝が必要である ・ 権原らしさは別に必要とは思っていない、建物は建築にも管理にも費用をかけない ・ 高野山、吉野山、名古屋、京都に拠点をアピールする ・ トイレは一般に広く利用してもらおう

● 図面を作成するまでの各テーマに関するご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
<p>議会機能の役割 使い方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議場は、1階に他の使用方法ができるようにする ・ 庁舎を日頃から利用していると議場に足を運ぶようになる→意識が変化→多目的な活用 ・ 議会を土日開催とし、市民が参加・傍聴しやすくする ・ 議場を1階につくることで、新本庁舎のメインとなる。また、年4回しか開催されない議会ではスペースとして無駄が生じるため、中高生や子どもによる議会を開く ・ 議会への市民参画のため1階にしてほしい ・ 市民が議会に関心をもつようにPRしてほしい ・ 議会への入り口を広く、たくさんの人が参加できるように1階に設置する ・ 傍聴席を大幅に増やす設計にして市民が傍聴しやすいようにすべき ・ 議員と市民が話せるスペースを設けてほしい
<p>その他・全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫煙場所を庁舎の外に作らないでほしい（庁舎内に密室型なら可） ・ 分庁舎はいらない、新本庁舎にまとめる ・ 新本庁舎を建てて、分庁舎を一緒にしてください（分庁舎は貸す） ・ ナビプラザ、分庁舎、新本庁舎に全てまとめるのが市民に利便性あり

●意見をもとにグループで作成した図面



図面を作成するためにグループでまとめた意見

● 各機能の使い方・配置等

(防災・広場・駐車場)

- ・ 地下貯水機能を持った広場
- ・ 広場は観光バス用の駐車場として利用する
- ・ 災害時は防災広場として利用する
- ・ 民地側には植栽を設ける

(施設の使い方)

- ・ 今井町をアピールした建物とする
- ・ 公文書館を設ける
- ・ 観光機能はいらない
- ・ 西館は既存のまま利用し、交流スペースとして活用する

(議会機能)

- ・ 議場は1階に配置する
- ・ ただし、議会は年4回のみなので、多目的に利用できるスペースとする
- ・ 例えば、集会スペースなどとし、市民に開放する

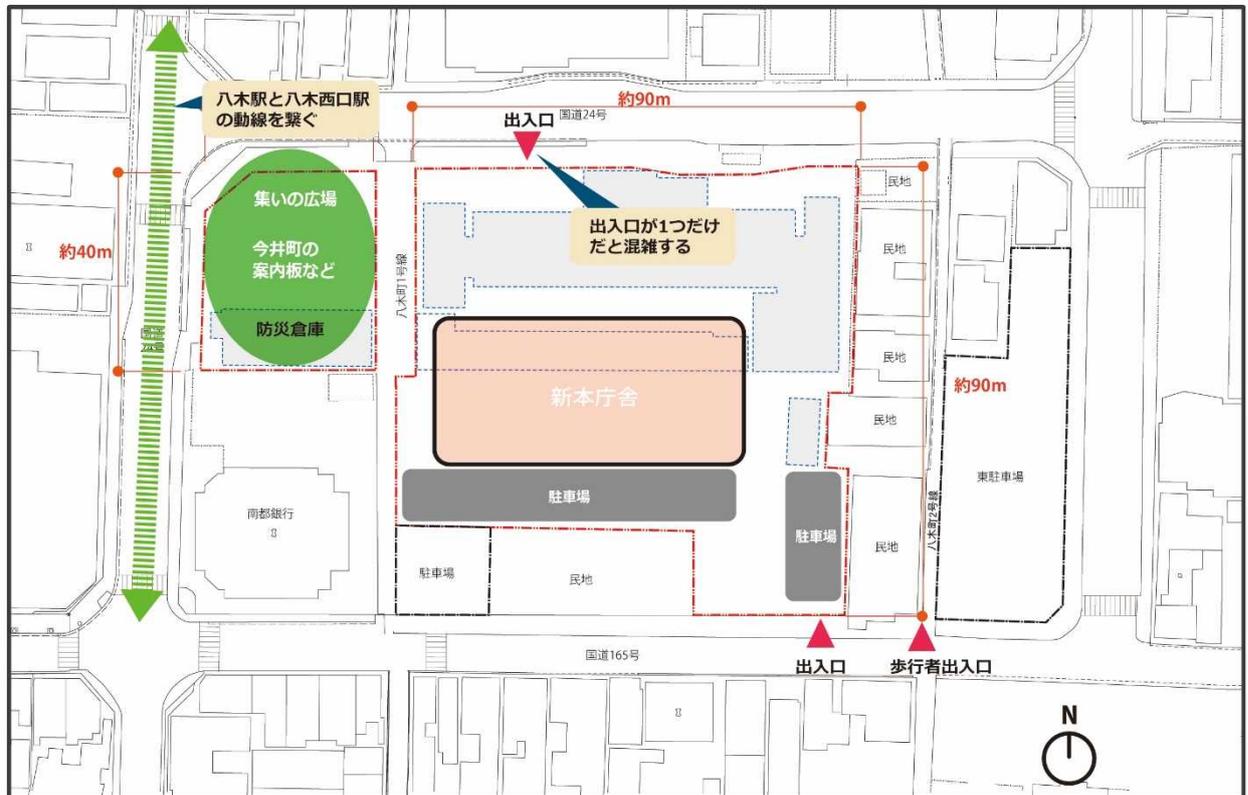
E グループの意見

● 図面を作成するまでの各テーマに関するご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
防災拠点機能 広場機能の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災倉庫は景観に配慮したデザインとする ・ 炊出し等のイベントを実施する ・ 出入口が1つだけだと混雑する ・ 市民が利用可能な調理実習ができるキッチンを設け、災害時にも利用できるようにする ・ 建物をコの字型にして中庭を囲われた安心感のある防災広場にする
市民協働 交流スペースの使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室内の市民用スペースは分庁舎にあるのでいらない ・ 庁舎のデザインが優れていれば広場に人が集まる ・ 市の女性が働きやすいよう、保育園、スーパー、売店を入れる ・ 今井町の案内図などを設置する ・ 大和八木駅・八木西口駅の動線を繋ぐ場所とする ・ 売店・カフェ・喫茶を設置することで、広場を見ながらモーニングを食べれる ・ 保育・託児機能の前に広場を設ける
権原市のまちづくりや 権原らしさを 考慮した使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的な景観、今井町、日本国の始まり ・ お金をかけるのではなく活用する ・ まちを表現するデザインとする ・ まちづくりの核にする ・ 一般の人も入れるように市役所の敷居が高い感じをなくす ・ 親しみやすい市役所＝権原らしさである ・ 医大と市役所と近鉄百貨店一体的に考えて、近鉄百貨店にも様々な機能を入れる ・ 近鉄百貨店の敷地に県庁がくる ・ 八木西口駅を今井町につなげた駅名（観光地の出入口）にする ・ 観光客が散策できるようにする ・ 民家と距離が近く圧迫感がある
議会機能の役割・使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会は1階に設ける
その他・全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ AIなどで職員数が減ることから庁舎の規模を縮小できるのではないか ・ 窓口機能がないなら7階でなくても低くできるのではないか ・ 市本庁舎としての中身は庁舎機能のみで良い ・ 分庁舎の駐車場、ナビプラザ利用時に使えないのは不便である ・ 畝傍駅を再整備しきれいにする ・ 新本庁舎に郵便局を入れる（駐車場を集約） ・ 郵便局に駐車場がないため使いにくい ・ デザインの専門家に考えてもらう

●意見をもとにグループで作成した図面

平面図①案



図面を作成するためにグループでまとめた意見

- テーマ
 - ・ 前提条件に基づき新本庁舎を配置した場合の案
- 各機能の使い方・配置等
 - (防災・広場・駐車場)
 - ・ 敷地の南側に駐車場を設置する
 - ・ 敷地への出入口が一箇所だと混雑するため、複数箇所設ける
 - ・ 西館のある敷地には集いの広場を配置し、今井町の観光案内などを行う
 - ・ 合わせて大和八木駅と八木西口駅を繋ぐ動線を整備する
 - (施設の使い方)
 - ・ シンプルであるが、外観には樞原らしさが必要である。
 - ・ 職員の働きやすさも考慮する
 - (施設の使い方) (議会機能)
 - ・ 議会は1階とする

平面図②案



図面を作成するためにグループでまとめた意見

- **テーマ**
 - ・ 新本庁舎の中心に中庭を設け、防災広場とする
- **各機能の使い方・配置等**

(防災・広場・駐車場)

 - ・ 広場は敷地の北側を活用し、公園として整備する
 - ・ 木陰をつくりベンチを設置し休憩できるスペースとする
 - ・ かまどベンチ等の防災に利用できる設備を設置する
 - ・ 駐車場は東側に配置し車が通り抜けられるようにする

(施設の使い方)

 - ・ 新本庁舎の中心に中庭を設け、囲われた防災広場として活用する
 - ・ 調理実習用キッチンを設けた部屋を設置し、中庭と一体的に活用する
 - ・ 保育機能を配置し、職員の働きやすさを向上させ、中庭とも一体的な活用をする
 - ・ 新本庁舎のエントランスはピロティとして中庭とつなぐ
 - ・ 南側の民地が近く 圧迫感があるので配慮する

(議会機能)

 - ・ 議場は1階に設置し、中庭に面する位置にする
 - ・ 傍聴席は議場を見下ろす作りとする